

～はじめに～

社友会ホームページ 4 月号の「2020 年 Windows7 延長サポート
終了」の記事を ご覧の方より、多くの反響がありました。

主な反響の内容は、折角使い慣れた PC が **Win10** へのアップグレードによってまた

- ① 使い方が変わるのは、うっとうしい。(Win7 のままで)どうにかならないか？
- ② ネットを通じて業者に **Win10** にアップグレードしてもらおうと 2 万円以下で済みそう。
という内容でした。

結果、

- ① の方のうち、お一人を除いては、結局は **Win10** への移行を決心して、自宅近くの量販店で新しい PC を購入されたか、または **Win10** の OS を購入してご自分でインストールされた(量販店のサービスを受けながら)ように、お聞きしています。
PC を購入されたお店と 適度な人間関係を保たれ、日ごろ駆け込み寺の実店舗として使っておられる方だなあ、と感じさせられた次第です。

- ② の方は、自らネットで確認したところ、比較的安値で 丁寧な説明だったので、業者を自宅に出張させ、**Win10** に切り換えて、今は問題なく使えているとのことでした。

しかし、問題が生じたときに、知らない業者に依頼するのは、今どきは、禁物だと思えます。 PC 内に ウイルスなど、何かを埋め込まれて、長期にわたり何かのデータを盗み取られるやも知れず、あとあと心配につながってしまうこともあるのです。このような場合、後日のため、詳細な作業書を取っておくことが大切です。

NPO 法人(特定非営利活動法人)を 組織する、わたくしどもでは、見ず知らずの業者を紹介することはありませんが、信頼できる人を推薦することはあります。
また、各地域 **NPO** 法人には、現役時代に立派に経験を積まれた方々が多く登録されています。

Windows 7 サポート終了前に、

- ① できるだけ安く Windows 10 へ乗り換えよう！
- ② セキュリティ対策と、同時にハードウェアやドライバーの見直しも！

2014年4月に Windows XP のサポートが終了したときよりも、混乱は少なくなっていますが、いざ自分がその立場になると、「具体的に どうすればいいのかわからない」という人も、多いのではないのでしょうか？

今回の 目次

- (1) Win 7 サポート終了で(何もせずに放置すると) 困る こと
- (2) OS とともにアプリ(Office2010 や年賀状、会計)も最新版へ入れ替えると効率的
- (3) ウイルス対策や脆弱性緩和機能を搭載、指紋や顔認証も使えばよりセキュアに
- (4) サポート切れなし！ 安心して使い続けられる Win10

Win 7 を使い続けると 生じる具体的なデメリット、および「Win10」への移行と、移行をなるべく 楽～くに、お得～くに、進めるポイントを紹介します。

(1) Win 7 サポート終了で困る こと

(無料の)更新プログラムの提供も 終了してしまいます。

ウイルスや **ランサムウェア**などのマルウェア、大規模な情報漏えい、サービス停止を 狙った個人・企業・国家に対しての DoS(DDos)攻撃※など、セキュリティ被害のニュースを 耳にする機会も少なくありませんが、これらの中には、いわゆる「脆弱性※」を突く 攻撃が多いのです。

※DoS(DDos)攻撃:相手の攻撃対象(コンピュータ)に 大きな負荷をかけること・フリーズさせることなど。

※脆弱性:OS やソフトウェアなどに未修正のまま残っているプログラムの不具合のこと。これを悪用することで、システムを自由に扱うことの特権を取得したり、不正に情報を取得することなどが可能になる。

Windowsにも、過去、こうした脆弱性がいくつか発見されていますが、(年2回の)Windows Update 経由で 配信される 更新プログラム によって 迅速に修正されています。最新の状態へ 常に(自動的に)アップデートされているので、セキュリティ被害を受ける可能性は限りなく低くなっています。

しかし、サポートが終了すると、仮に、OSに重大な脆弱性が発見されたとしても、それを修正するための(自動)更新プログラムは **※**基本的に提供されなくなってしまいます。

※例えば、ドアや窓が壊れたままの家に住み続けるようなもの。確かに、住むことはできるが、いつ泥棒に入られてもおかしくない。
あるいは、クルマでは、2年ごとの車検制度はありますが、ドライバーが自主的に行う、オイルやタイヤや冷却水などの「日常点検整備」を しっかり実施されてこそ、初めて安全が見えてくるのです。

セキュリティ対策ソフトを導入しているから大丈夫(市販のウイルスバスター…など)――。

と、考える人もいるかも知れませんが、それだけでは、守り切れません。
なぜなら、セキュリティ対策ソフトそのものが、(Win7)サポートが終了してしまった後の、Win7上での動作に 対応しなくなることもあるのです。

では、どうすればいいの？

やっぱり、サポートが提供されている最新の **Win10** に乗り換えることです。
Win10 への乗り換えには、種々多くのメリットがあります。
(Win7の) サポート終了まで、まだ 半年以上の期間があるので、今から準備を整え、速いうちに **Win10** に乗り換えておきましょう。

2020年1月14日に
Windows7のサポートが終了します

Windows 7

バージョンアップへ!

Windows 10

買い替えが必要??

今、使ってるパソコンでバージョンアップできるの?

無料相談実施中

Microsoftのウェブページでは、**Win 7** や **Office 2010** のサポート終了に関する各種情報が提供されています。

そのリスクを理解し、早めに対策しておくことが大切です。

① ウイルス対策が可能な Windows Defender を標準搭載
② Windows Hello による 指紋認証や顔認証ログインに対応
③ 安全性を高めた 新ブラウザ Edge と Smart Screen による悪質サイト保護機能
④ OS が 起動する前のウイルス感染を保護する セキュアブート
⑤ 従来は 企業向け PC に「 EMET 」が提供されていたが、現在では、家庭用 Win10 にも 標準搭載脆弱性緩和機能(EMET※) を標準搭載されている

(2) OS とともに アプリも最新版へ 入れ替えると効率的

そもそも、現在 **Win7** で使っている アプリケーション(Office2010 など)も、その多くが 2020 年 1 月 14 日の段階で サポートを終了すると 予想されます。

後々、アプリケーションの入れ替え作業が発生し、高いコストを支払うくらいなら、**Win10** を新規インストールするタイミングで、アプリケーションも最新版に入れ替えておくことが 効率的と云えます。

Windows 7+Office 2010 という 組み合わせで PC を使っている場合は、**Office** の アップグレードも 忘れずに実施されてはいかがでしょうか。

(3)ウイルス対策や脆弱性緩和機能を標準搭載、指紋や顔認証の活用でよりセキュアに

一方、プリンターなどの周辺機器については、**Win7** 用の製品のほとんどを **Win10** でも利用できる可能性が高く、よほど (10 年以上の)古い製品でないかぎり、そのまま使い続けることができるはず。詳しくは 各製品のサポート情報などを 行きつけの量販店なりで 確認されると良いと思います。

Win10 に移行しておく、サポートが終了した **Win7** を 使い続けることによる セキュリティリスクの回避できるメリットがありますが、これ以外にも **Win10** に移行するメリットは数多くあります。

最大の注目点は、セキュリティ機能が 大幅に強化されている点です。例えば、以下のような機能を 利用できることを、【先月号の内容】から おさらい してみましょう。

Win10 標準搭載のセキュリティ機能

- ① **Windows Defender** は、**Win7** の時代には、インストール操作が必要だったが、**Win10** では 標準(無料)で インストールされており、ウイルスなどの マルウェアから PC を保護できるようになっています。

機能的にも 大幅に強化されており、市販のセキュリティ対策ソフトと 比べても 劣るものではなく、セキュリティ対策ソフトの購入に充てていた 費用を節約できるのも 大きなメリットです。

- ② ずさんな管理で、情報漏えいが心配だった パスワードの管理も、指紋や 顔認証を 活用でき、よりセキュアな環境で PC を使えるようになっています。

さらに、法人向けの **Office 365** や **Microsoft 365** と 組み合わせると、文書からの機密情報の漏えいを防ぐ機能や、紛失したモバイル端末から データを遠隔操作で 削除できる機能なども利用できます。 セキュリティ対策の選択肢が単純に 増えることは 大きなメリットです。

- ③ 安全性を高めた 新ブラウザ**Edge** と **Smart Screen** による悪質サイト保護機能

Windows Defender SmartScreen を有効にすると、悪意のある Web ページやソフトウェアを 表示した際に警告が表示されます。

フィッシング詐欺※サイトや 悪意のある Web ページへのアクセス、ウイルスやスパイウェアなどの ダウンロードをブロックする機能です。従って、**Win 7**や**8.1** 当時の、Security Essentials とでは、性能にかなりの差があります。

※フィッシング詐欺:メールや Web ページで金融機関を装って個人情報を搾取する手法のこと

- ④ OS が 起動する前のウイルス感染を保護する **セキュアブート**

コンピュータ起動時に、動かして OK なソフトか否かをチェックして、OK なソフトだけを動かす機能または、怪しいソフトの実行を防ぐ機能(とか、それを実現するための技術)

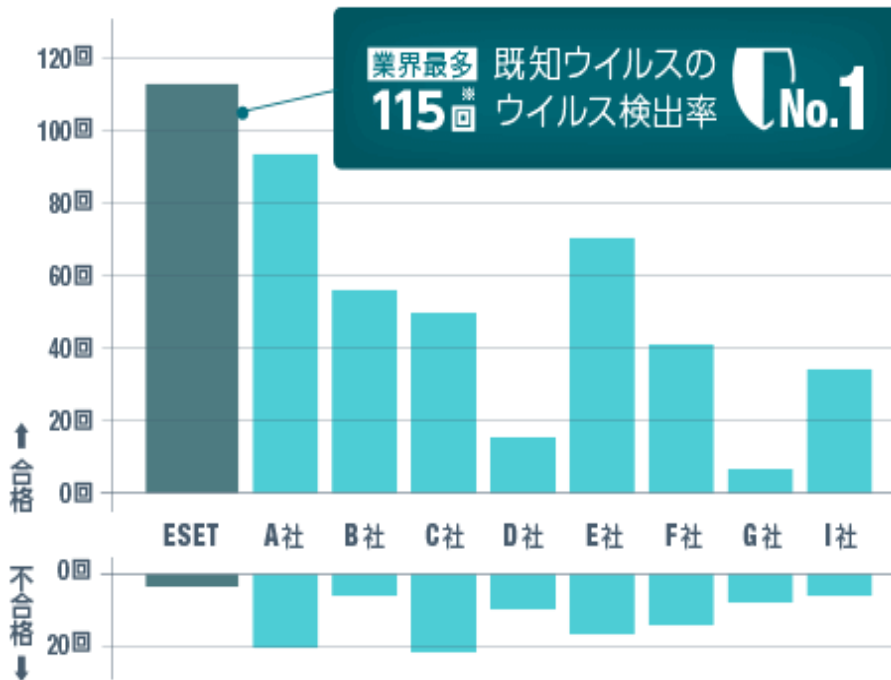
- ⑤ 従来は 企業向け PC のみに「**EMET**(イーメット) 」が提供されていたが、現在では、家庭用 **Win10** にも標準搭載脆弱性緩和機能(EMET※)を標準搭載されている

PCのセキュリティ対策は、無料の Windows Defender のみで 十分と云われています。

(市販のセキュリティ対策ソフトより安全とのこと。理由は、EMET が、Windows Defender に統合されて、組み込まれているからだそうです。

※EMET : (イーメット)

(インターネット専用の)プロアクティブな**マルウェア検出技術**のパイオニア的存在のウイルス専門対策ソフト開発企業。 危険な**マルウェア**を阻止するため、**Microsoft** と **EMET** が 協力して PC ユーザを保護してきており、安全 **No 1.** の**世界的評価**を受けている



唯一のウイルス検出力 **100%**
 ※1998年5月～2019年4月の
 評価

ESET: Enjoy Safer Technology の略。PCのマルチウェアなどを守る強力アンチウイルスソフト。

(4) サポート切れなし！ これからは 安心して 永久に 使い続けられる Win10 です。

Win10には「Windows as a Service (WaaS)」というコンセプトが採用されており、一年に2回提供される大規模アップデートを適用していくことで、常に最新の状態が提供されると同時に、機能の追加なども行われるようになっていきます。

サポート終了前に定期的にアップデートを繰り返していけば、Win7のようにサポート期限の終了困るようなことはまったくありません。

以上

- 出所
- ・Microsoft Web Page (2018~2019年)
 - ・日経オンライン各号
 - ・日経パソコン各号
 - ・日経コンピュータ各号
 - ・富士通オンライン各号
 - ・Web page Internet.watch